

補助事業番号 19-121

補助事業名 [平成19年度水資源の有効活用のための研究開発等補助事業](#)

補助事業者名 財団法人造水促進センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

水資源の有効利用により環境負荷の軽減と循環型経済社会の促進を図るため、廃水の再生利用や海水の淡水化等造水・排水処理技術に関する先端技術の開発および実用化事業を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

① 造水技術の技術開発

[ア. 硫化物沈殿法による排水中からの金属回収技術開発](#)

(株)太洋工作所に設置しているパイロット試験装置を改造し、実験条件をより厳密にコントロールできるようにしたのち、銅の回収方法、他の金属の除去方法等に関する実験を行った。

また、早稲田大学に硫化物法の基本性能確認実験を委託して、排水中の電解質種が硫化銅生成に及ぼす影響、沈殿物の固液分離性の確認試験等を行った。

② 造水技術の普及・技術協力

[ア. インドネシアからの技術者招聘等](#)

工場の水使用合理化および工場排水処理の分野で東南アジア地域への国際交流を深めるため、インドネシア工業省傘下の繊維研究所から技術者1名を招聘した。

インドネシアの繊維産業が環境汚染を引き起こしている現状とその対策および我が国に期待する技術等を伺うとともに、我々の再利用に関する技術を紹介した。さらに、関連企業等を訪問し我が国の繊維染色整理業の実態と排水処理技術を紹介した。

[イ. 小型逆浸透膜海水淡水化展示装置の製作および運転展示](#)

維持管理の容易で長期展示可能な小型逆浸透膜海水淡水化装置模型を設計・製作し、合わせてコンピューターグラフィック、説明用パネルを作成した。

展示装置（名称：東京湾海水淡水化システム）およびコンピューターグラフィック等の設計・製作の完了後、東京都水道局研修開発センター内に展示し、海水淡水化の普及導入・広報活動を実施している。

2. 予想される事業実施効果

本補助事業の成果が今後広く普及することにより、水処理装置および環境装置等造水関連機械の導入が増加し、機械振興に寄与することが予想される。

3. 本事業により作成した印刷物等

平成19年度硫化物沈殿法による排水中からの金属回収技術開発報告書 100部
平成19年度小型逆浸透膜海水淡水化展示装置の製作および運転展示報告書 100部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人造水促進センター(ゾウスイソクシンセンター)

住 所： 郵便番号 103-0003

東京都中央区日本橋横山町4番5号 福田ビル 4F

代表者： 理事長 島川 文雄(シマカワ フミオ)

担当部署： 総務部(ソウムブ)

担当者名： 総務部長 中村 俊治(ナカムラ トシハル)

電話番号： 03-5644-7565

F a x： 03-5644-0686

E-mail： zosui@wrpc.jp

U R L： www.wrpc.jp